



<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

11月テーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	できるよ	名前を呼ばれて返事をしたり、手あそびをしたり。褒められてできることがどんどん増えていく。
1才児	歌をうたおう	ピアノの音やCDの曲が聞こえると笑顔で口ずさむ1才児。身振り、手振りをつけて季節の歌や生活の歌を楽しむ。
2才児	絵本大好き	絵本を読むと目をキラキラさせて見つめるみんな。様々なジャンルの絵本を読み、たくさんの言葉を知り、登場人物や動物になりきって絵本の世界を楽しむ。
3才児	劇あそびを楽しもう!	劇あそびの楽しさを知り、役になりきってセリフを言う。歌やダンスで全身を使い表現することを楽しむ。
4才児	発表会に向けて	ピアノカ奏や合奏、劇などを難しいと諦めず、発表会という目標に向かってコツコツと練習する。できなかったことができるようになり、嬉しい気持や達成感を味わう。
5才児	時計を見よう	あそびや食事の終わる時間を伝え、時計を見て考えながら行動する。1日の流れがわかり時間を気にして行動する中で、1年生になることを少しずつ意識する。

11月のプラン

- 1日(木) 弁当日
(ばら組・ゆり組弁当遠足)
 - 12日(月) 内科健診(3才児未満)
 - 14日(水) 内科健診(3才児以上)
 - 15日(木) 弁当日
 - 18日(日) えるとまつり
(ゆり組5才児参加)
 - 20日(火) 誕生会
- ≪7日(水)カンガルー広場(園庭開放)≫



地域参加「えるとまつり」

園長 秋保めぐみ

えるとまつりの第1回目から年長ゆり組がまつりのオープニングに参加しています。きっかけは“子どももお年寄りも障害のある人も住みやすい街づくりを”という支援センターえると(野尻町)の趣旨に賛同してのことです。地域の方にしらすぎ保育園を知って頂く良い機会でもありますし、年長の子どもたちにとって、保育園以外の場所で、踊りを披露して拍手を頂いたり、誉めて頂いたりすることで、自信へと繋がっていく良い経験の場になっています。楽しい模擬店もたくさん出ています。11月18日(日)、みなさんも参加してみたいかがでしょうか?

子供によくみられる症状 その4

“咳・喘息について”

嘱託医 宮崎医院小児科 宮崎裕美

咳、喘鳴(ゼーゼー)がでたときのホームケア

- 1 咳が止まる合間をみはからって水分を少しずつ飲ませましょう
- 2 安静にして部屋の加湿をしましょう
加湿器を使う。部屋に洗濯物や濡れタオルを干しても加湿できます
- 3 楽な姿勢(座る、抱っこされるなど)にしてやりましょう
- 4 鼻水がのどに落ちてゴロゴロすることもあるので、鼻水をすってやりましょう
- 5 食事はのどごしのいいもの(ゼリー、ポタージュスープ、アイスクリーム、プリン、茶わん蒸しなど)を少しずつ食べさせましょう

診察時間外でもすぐに受診が必要な状態

- ひとつでも当てはまるときはすぐに受診しましょう
- 呼吸をするとゼーゼー、ヒューヒューという 横になれない
 - せき込む前に口にもものを加えていた(誤嚥、誤飲した可能性があります)
 - 声がかすれてケンケン、キュンキュンと時々せき込む
 - 呼吸が早く苦しそう(肩で息をしている感じ) 湿疹がでている
- すぐに救急車を呼ぶ状態
- ひとつでも当てはまる時は救急車を呼びましょう
- 唇の色が紫 声がかすれてゼーゼーしている 呼吸が浅くあえぐような息をしている



ばら・ゆり組遠足 ~キッズプラザ大阪へ~

平成30年10月18日(木) ばら組担任 安養寺優奈



待ちに待った遠足!出発前からドキドキワクワクのみんな。行きのバスでは〇×クイズやなぞなぞなどのバスレクをしながら楽しく行きました。キッズプラザ大阪は「子どもたちが楽しいあそびや体験を通じて学び、創造性を培い可能性や個性を伸ばす」ことを基本理念とし、子どもたちが新しい発見や感動に出会うように工夫されていました。ゆり組とばら組は、科学や文化をあそびながら学べる「やってみる階」と生活体験をしながらあそべるフロアの「あそぼう階」で楽しみました。

特にばら組は「あそぼう階」が人気で、男の子はヘルメットを被りパイプ工事屋さんになったり、街を走り回ってポストに手紙を入れる郵便屋さんになったりしました。女の子はお寿司屋さんやパン屋さんになったり、エプロンをつけて赤ちゃんを抱き、おかあさんになったりしてあそびました。子どもたちは自分のやりたいことを見つけてあそび満足そうでした。

保育者の声 たんぼ組担任 森 友美

4月の頃は、寝返りや腹這いがほとんどでしたが、日に日に成長し今ではお座りやつかまり立ちが出来、歩けるようになったたんぼ組ちゃん!9月からは新聞紙あそびや砂あそびなどにチャレンジしています。また名前を呼ぶと「ハイ」と小さな手を挙げて返事をしたり、友だち同士で「キャッキヤ」となにかかわいい声でお話したりする姿も見られます。これから、どんどん色々なことができるようになっていくみんなの成長が楽しみです。



(編集後記)

運動会が終わり、大きな行事を終えて子どもたちの顔立ちがまた少しお兄さん、お姉さんらしくなってきたような気がします。園庭であそんでいると異年齢の友だちとも関わる姿がよく見られます。年上の友だちから教わったあそびを年下の友だちに分かりやすく教えてやり、手をつないで一緒にあそんでいました。頼もしい光景に心が温かくなりました。(鴨崎)

<今月の担当:小田嶋幸恵・鴨崎絵美・森 友美>